

令和4年度公立高等学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和4年12月1日現在としてお答えください。

※本調査における「高等学校」は、高等学校及び中等教育学校後期課程を対象とします。

※特別支援学校、定時制及び通信制の課程は対象外とします。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

※「普通科」「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」「その他の専門教育を主とする学科及び総合学科」について、それぞれ複数の学科が設置されている場合は、その学校に設置されている「普通科」「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」「その他の専門教育を主とする学科及び総合学科」ごとに1つずつの回答として集計しています。

1. 調査対象学校数

調査対象学校数	3,280
---------	-------

2. 調査対象学校における学科の設置状況

※普通科とは高等学校設置基準第6条第1項の学科です。

※「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」とは、高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち英語教育を主とする学科及び第6条第2項第14号の学科です。

※「その他の専門学科及び総合学科」とは、英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く高等学校設置基準第6条第2項の学科及び高等学校設置基準第6条第3項の学科です。

(単位：学科)

普通科	英語教育を主とする学科 及び国際関係に関する学科	その他の専門学科 及び総合学科
2,225	135	2,167

3. 英語担当教師の英語力の状況

3-(1) 調査基準日時点において高等学校に所属する英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2レベル以上を取得している教師数を回答してください。

※「英語担当教師」とは、調査基準日時点において高等学校に所属し、英語の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ英語の授業を担当している者です（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師を除く）。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR B2/C1レベル（英検準1級など/英検1級など）相当以上」にあたるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にし判断してください。

英語担当教師数	CEFR B2レベル以上を取得 している教師数	CEFR C1レベル以上を取得 している教師数
20,670 人	14,953 人	4,643 人

3-(2) 英語担当教師の海外留学経験等の状況

※「海外留学経験等」とは、海外にある学校や研修施設等へ通った実績を指します。

高等学校卒業程度までに海外に在留し、現地にある学校（日本人学校を除く）へ通った経験も含まれます。

※オンラインでの海外留学経験も含まれます。

※複数回の「海外留学経験等」がある場合には、その日数を合計してください。

(単位：人)

	海外留学経験等が ある教師数
1ヶ月未満	2,297
1ヶ月以上 半年未満	2,916
半年以上 1年未満	3,022
1年以上	2,547
合計	10,782

4. 外国語指導助手（ALT）等の人数

高校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している人物を指します。英語以外の外国語を担当するALTは含みません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「高等学校におけるALT人数」とは、小学校、中学校等と兼務している人数を含みます。

※「自治体が2校以上の高等学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントしてください。

※「自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外でのALTで教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのことです。

※「派遣契約によるALT」とは、派遣先（教育委員会）と派遣契約を結んだ派遣元（会社）により派遣されるALTのことです。

※「請負契約によるALT」とは、注文主（教育委員会）と請負契約を結んだ請負業者（会社）により派遣されるALTのことです。

※「上記以外で学校独自に授業への協力を得ているALT等」とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者として。また、外国人とは、第一言語を日本語としない者として。

(単位：人)

	高等学校におけるALT人数	小学校とのみ兼務している人数	中学校とのみ兼務している人数	小学校及び中学校と兼務している人数
JETプログラムによるALTの人数	1,705	3	108	26
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	442	6	13	6
派遣契約によるALTの人数	488	4	24	6
請負契約によるALTの人数	3	0	0	1
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、高等学校における英語の授業で活用している人数	0	0	0	0
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	75			
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	225			
合計	2,938	13	145	39

5. 英語の授業におけるICT機器の活用状況

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	75%以上の授業で行った（行う）	50%以上75%未満の授業で行った（行う）	25%以上50%未満の授業で行った（行う）	1%以上25%未満の授業で行った（行う）	実施していない
教師がデジタル教材等を活用した授業	1,569	904	519	231	57
生徒がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動	175	484	995	1,197	429
生徒による、発話や発音などの録音・録画	84	208	630	1,361	997
生徒がキーボード入力等で書く活動	143	300	769	1,357	711
生徒が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動	24	54	180	671	2,350

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	週1回以上行った（行う）	月1回以上行った（行う）	半年に1回以上行った（行う）	年1回以上行った（行う）	実施していない
生徒が遠隔地の生徒等と英語で話をして交流する活動	27	66	237	319	2,631
遠隔地の教師やALT等とチーム・ティーチングを行う授業	93	86	106	165	2,830
生徒が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動	19	44	137	174	2,906

6. 英語教育に関する小学校・中学校との連携の状況

6-(1)英語教育に関する小学校・中学校との連携の実施状況

英語教育に関して、小学校と連携していますか。当てはまる方に○をつけてください。

(単位：校)

小学校との連携を実施した（する）	小学校との連携を実施しなかった（しない）
271	3,009

英語教育に関して、中学校と連携していますか。当てはまる方に○を付けてください。

(単位：校)

中学校との連携を実施した（する）	中学校との連携を実施しなかった（しない）
638	2,642

6-(2)英語教育に関する小学校・中学校との連携の取組内容

小学校・中学校との間で実施した（する）連携の内容として当てはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

(単位：校)

	実施学校数
情報交換 (互いの取組・実践を情報として交換する) 例：授業参観、校内外における合同研究会の実施及び参加等	526
交流 (情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。) 例：指導方法等についての検討会、高等学校の英語担当教師による小学校や中学校での授業等	403
小学校や中学校と連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定	114
その他	102

小学校・中学校との連携内容として、「その他」を選んだ場合、その内容を記入してください。

7. 生徒の英語力に関すること

以下に該当する生徒数を記入してください。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR A2レベル（英検準2級など）相当以上」「CEFR B1レベル（英検2級など）相当以上」にあたるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A2(B1)レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア
- ・CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果 等

3年生に所属している生徒数	3年生に所属している生徒のうち、CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数(B1レベル相当以上を含む)	3年生に所属している生徒のうち、CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数(B1レベル相当以上を含む)	3年生に所属している生徒のうち、CEFR A2レベル相当以上を取得しているか、CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数
627,104 人	189,597 人	115,592 人	305,189 人
3年生に所属している生徒のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数	3年生に所属している生徒のうち、CEFR B1レベル相当以上を取得している生徒数	3年生に所属している生徒のうち、CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数	3年生に所属している生徒のうち、CEFR B1レベル相当以上を取得しているか、CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数
323,734 人	78,022 人	54,926 人	132,948 人

8. 英語を使用する機会に関すること

8-(1)授業における、生徒の英語による言語活動の割合

①第1学年

第1学年で、開設している科目ごとに、1単位時間（50分）の授業の中で、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について、当てはまるものに○をつけてください。

※教師ごとではなく科目全体について回答してください。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。（学習指導要領解説 付録10参照）

【聞くことの例】概要や要点などを聞いて把握する活動

【読むことの例】概要や要点などを読んで把握する活動

【話すこと〔やり取り〕の例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話し合う活動

【話すこと〔発表〕の例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話して伝える活動

【書くことの例】理由や根拠を基に情報や考え、気持ちなどを書いて伝える活動

(単位：校)

		開設している学科数	授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	(参考) 開設していない学科数
普通科	英語コミュニケーション I	2,194	472	962	606	154	31
	論理・表現 I	1,841	272	707	633	229	383
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語 I	123	48	57	16	2	12
	英語コミュニケーション I	23	10	12	1	0	112
	ディベート・ディスカッション I	73	47	21	3	2	62
	エッセイライティング I	44	13	17	12	2	91
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーション I	1,616	200	629	575	212	39
	論理・表現 I	541	75	210	181	75	1,114

上記を10としたとき、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」にかかる時間の割合を0～10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体で10とした場合。)

(単位：学科)

「話すこと〔やり取り〕」		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通科	英語コミュニケーション I	32	290	680	503	311	202	121	34	21	2	0
	論理・表現 I	51	295	598	486	230	120	44	15	8	0	0
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語 I	0	11	36	38	19	11	6	1	1	0	0
	英語コミュニケーション I	2	1	5	9	4	3	1	1	0	0	0
	ディベート・ディスカッション I	1	0	9	6	9	10	3	8	9	1	18
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーション I	28	241	547	365	206	132	69	17	10	1	1
	論理・表現 I	26	83	184	144	58	34	15	2	0	0	1

(単位：学科)

「話すこと〔発表〕」		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通科	英語コミュニケーション I	78	689	767	444	162	32	15	4	2	1	2
	論理・表現 I	113	500	691	395	108	30	4	1	2	0	3
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語 I	3	32	48	28	12	0	0	0	0	0	0
	英語コミュニケーション I	3	5	8	4	6	0	0	0	0	0	0
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーション I	93	545	535	316	88	24	10	3	1	1	1
	論理・表現 I	42	151	202	125	18	6	2	0	0	0	1

(単位：学科)

「書くこと」		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通科	英語コミュニケーション I	40	424	867	466	208	97	56	23	12	1	2
	論理・表現 I	17	110	415	476	368	219	146	55	32	4	5
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語 I	2	28	53	26	10	2	2	0	0	0	0
	英語コミュニケーション I	2	2	9	8	4	0	1	0	0	0	0
	エッセイライティング I	1	1	2	8	6	9	3	5	3	0	7
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーション I	24	344	607	318	171	86	40	14	8	2	3
	論理・表現 I	15	41	129	134	103	56	48	11	10	0	0

①第2・3学年

第2・3学年で、開設している科目ごとに、1単位時間（50分）の授業の中で、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について、当てはまるものに○をつけてください。

※教師ごとではなく科目全体について回答してください。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。（学習指導要領解説 付録10参照）

【聞くことの例】概要や要点などを聞いて把握する活動

【読むことの例】概要や要点などを読んで把握する活動

【話すことの例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話し合う活動

聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話して伝える活動

【書くことの例】理由や根拠を基に情報や考え、気持ちなどを書いて伝える活動

（単位：学科）

		開設している学科数	授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	（参考）開設していない学科数
普通科	コミュニケーション英語Ⅱ	2,203	391	881	713	218	22
	コミュニケーション英語Ⅲ	1,932	289	674	675	294	293
	英語表現Ⅱ	1,792	156	577	679	380	431
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語	112	42	47	21	2	23
	異文化理解	108	59	36	8	5	27
その他の専門学科及び総合学科	コミュニケーション英語Ⅱ	1,443	144	485	573	241	212
	コミュニケーション英語Ⅲ	643	90	209	245	99	1,012
	英語表現Ⅱ	571	59	182	229	101	1,084

上記を10としたとき、「話すこと」「書くこと」にかかる時間の割合を0～10で回答してください。

（※「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」全体で10とした場合。）

（単位：学科）

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通科	コミュニケーション英語Ⅱ	24	184	589	554	272	265	153	99	57	4	5
	コミュニケーション英語Ⅲ	55	259	595	425	186	215	91	64	37	7	7
	英語表現Ⅱ	68	320	601	414	197	151	36	11	4	1	0
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語	1	6	23	36	20	12	5	6	4	0	0
	異文化理解	2	5	14	19	25	18	7	12	6	0	1
その他の専門学科及び総合学科	コミュニケーション英語Ⅱ	24	171	456	347	161	135	76	41	29	6	3
	コミュニケーション英語Ⅲ	32	106	210	149	55	54	22	16	8	0	2
	英語表現Ⅱ	35	96	214	125	49	45	17	2	4	1	1

（単位：学科）

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通科	コミュニケーション英語Ⅱ	36	277	734	493	223	244	93	62	34	8	2
	コミュニケーション英語Ⅲ	52	266	582	426	182	201	98	67	54	12	1
	英語表現Ⅱ	21	56	199	327	304	316	207	197	131	33	12
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語	1	12	40	32	8	10	7	2	1	0	0
	異文化理解	2	5	29	34	16	20	1	0	1	1	0
その他の専門学科及び総合学科	コミュニケーション英語Ⅱ	31	224	447	314	146	122	79	56	25	4	1
	コミュニケーション英語Ⅲ	26	104	217	134	55	54	26	23	13	2	0
	英語表現Ⅱ	22	26	88	107	97	99	60	43	42	2	3

8-(2)「話すこと」及び「書くこと」を評価する、スピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

以下の各科目について、「話すこと」及び「書くこと」を評価する、スピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストについて、本年度実施した、あるいは本年度実施する計画がありますか。当てはまる欄に○を付けてください。

※スピーキングテストは定期考査の一環として行われるものを含みます。

学習指導要領に基づく言語活動（ディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーションなど）に沿った出題・評価とします。例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは定期考査における出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動などによって各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

（第2・3学年）この調査は科目における調査です。

例えば、ある科目を第2・3学年で2か年にまたがって履修する場合、調査年度の第2学年ではスピーキングテストのみ、第3学年ではライティングテストのみ実施していた場合、その科目としては「スピーキングテストとライティングテスト両方実施」となります。

また、ある科目を第2・3学年で2か年にまたがって履修する場合、調査年度の第2学年ではスピーキングテストを実施し、第3学年ではスピーキングテストもライティングテストも実施していない場合、その科目としては、「スピーキングテストのみ実施」となります。

（単位：学科）

第1学年		開設している 学科数	スピーキングテストと ライティングテスト両 方実施	スピーキングテスト のみ実施	ライティングテストの み実施	両方実施なし	（参考）この科目 を開設していない
普通科	英語コミュニケーションⅠ	2,193	1,402	428	267	96	32
	論理・表現Ⅰ	1,841	1,056	106	625	54	384
英語教育を 主とする学 科及び国 際関係に 関する学 科全体	総合英語Ⅰ	124	91	17	14	2	11
	英語コミュニケーションⅠ	22	18	3	0	1	113
	ディベート・ディス カッションⅠ	72		66		6	62
	エッセイライティング Ⅰ	45			43	2	90
その他の 専門学 科及び 総合学 科	英語コミュニケーションⅠ	1,613	1,020	298	210	85	42
	論理・表現Ⅰ	538	286	34	202	16	1,117

（単位：学科）

第2・3学年		開設している 学科数	スピーキングテストと ライティングテスト両 方実施	スピーキングテスト のみ実施	ライティングテストの み実施	両方実施なし	（参考）この科目 を開設していない
普通科	コミュニケーション英 語Ⅱ	2,202	1,042	419	497	244	23
	コミュニケーション英 語Ⅲ	1,931	582	251	721	377	294
	英語表現Ⅱ	1,787	615	62	974	136	438
英語教育を 主とする学 科及び国 際関係に 関する学 科全体	総合英語	111	74	9	21	7	24
	異文化理解	107	74	6	24	3	28
その他の 専門学 科及び 総合学 科	コミュニケーション英 語Ⅱ	1,441	661	264	343	173	214
	コミュニケーション英 語Ⅲ	640	213	90	215	122	1,015
	英語表現Ⅱ	577	223	29	274	51	1,078

上記の項目において、少なくともスピーキング又はライティングのいずれかについてパフォーマンステストを実施している科目について、以下に示すテスト形式の実施回数（実施予定を含む）を記入してください。

※実施回数について、当該学科・学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

（第2・3年学年のみ）この調査は科目についての調査です。

例えば、ある科目を第2・3学年で2か年にまたがって履修する場合、調査年度の第2学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を2回実施し、第3学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を実施しなかった場合、その科目のスピーキングテスト（スピーチ）の実施回数は2回となります。

（単位：学科）

第1学年		普通科		英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体			その他の専門学科及び総合学科		
		英コミ I	論表 I	総英 I	英コミ I	ディバ・デイス I	エッセイ I	英コミ I	論評 I
スピーキングテスト	スピーチ	2,025	1,264	211	87			1,639	338
	プレゼンテーション	2,025	1,141	221	78			1,400	322
	インタビュー（面接・対話等）	1,859	1,181	161	65			1,544	299
	ディスカッション	238	204	113	41	121		85	42
	ディベート	151	163	47	42	113		73	36
	その他	647	300	84	44			443	71
スピーキングテスト総合計		6,945	4,253	837	357	234		5,184	1,108
ライティングテスト（エッセイ等）		4,892	5,793	408	98		191	3,631	1,631

（単位：学科）

第2・3学年		普通科			英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体		その他の専門学科及び総合学科		
		コミュ英 II	コミュ英 III	英表 II	総英	異理	コミュ英 II	コミュ英 III	英表 II
スピーキングテスト	スピーチ	1,361	688	702	159	144	1,013	269	298
	プレゼンテーション	1,484	739	737	139	216	952	304	345
	インタビュー（面接・対話等）	1,268	619	573	128	127	1,015	217	245
	ディスカッション	178	190	141	33	86	78	72	47
	ディベート	230	118	155	32	73	84	61	52
	その他	498	244	135	48	64	332	126	93
スピーキングテスト総合計		5,019	2,598	2,443	539	710	3,474	1,049	1,080
ライティングテスト（エッセイ等）		4,490	3,434	6,251	388	397	2,935	1,088	1,850

「両方実施なし」を選んだ学年がある場合、その理由を回答してください。

8-(3)「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握の状況

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。
 ※学科全体の状況を回答してください。

※「『CAN-DOリスト』形式による学習到達目標」とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能／領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の生徒への配布、単元で使用するワークシートの形式での生徒への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、生徒、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■生徒と共有している例：

- ①年度当初の英語の授業（オリエンテーション）で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ③単元で使用するワークシート形式で生徒に示す。
- ④生徒が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有している例：

- ①「学校だより」で紹介する。
- ②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式で生徒に配布したCAN-DOリスト形式の学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

(単位：校)

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している
普通科	2,073	1,439	1,439
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	131	104	97
その他の専門学科及び総合学科	1,550	1,028	1,037
全学科	3,754	2,571	2,573

9. 授業における英語担当教師の英語使用状況

以下の表の各科目について、授業中における英語担当教師の英語による発話の状況として当てはまるものに○を付けてください。

※教師ごとの使用状況ではなく、科目全体として回答してください。

※ここでの「英語担当教師」とは、調査実施時点で英語の授業を担当している者としてします（非常勤講師及び臨時的任用の者も含まれます）。

(単位：学科)

第1学年		開設している 学科数	発話の75%以上 を英語で行っている	発話の50%以上 75%未満を英語 で行っている	発話の50%未満 を英語で行っている	(参考) この科目 を開設していない
普通科	英語コミュニケーションⅠ	2,193	334	1,019	840	32
	論理・表現Ⅰ	1,844	137	684	1,023	381
英語教育を 主とする学科及 び国際関係に 関する学科全 体	総合英語Ⅰ	123	49	57	17	12
	英語コミュニケーションⅠ	25	10	13	2	110
	ディベート・ディス カッションⅠ エッセイライティング Ⅰ	73	44	19	10	62
その他の 専門学 科及び 総合学 科	英語コミュニケーションⅠ	1,615	124	613	878	40
	論理・表現Ⅰ	539	42	186	311	1,116

(単位：学科)

第2・3学年		開設している学科 数	発話の75%以上 を英語で行っている	発話の50%以上 75%未満を英語 で行っている	発話の50%未満 を英語で行っている	(参考) この科目 を開設していない
普通科	コミュニケーション英 語Ⅱ	2,205	251	951	1,003	20
	コミュニケーション英 語Ⅲ	1,941	157	637	1,147	284
	英語表現Ⅱ	1,792	69	450	1,273	433
英語教育を 主とする学 科及び国 際関係に 関する学科全 体	総合英語	111	36	46	29	24
	異文化理解	109	57	32	20	26
その他の 専門学 科及び 総合学 科	コミュニケーション英 語Ⅱ	1,445	83	495	867	210
	コミュニケーション英 語Ⅲ	645	35	208	402	1,010
	英語表現Ⅱ	588	30	154	404	1,067

10. ALT等の授業への参画状況

10-(1)英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

英語の総授業時間数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業の割合として当てはまる欄に○を付けてください。

※英語の授業以外（総合的な学習／探求の時間や特別活動等）で英語に触れる時間は含めません。

※英語以外の外国語の授業時間は含みません。ただし、英語に関する選択科目や学校設定科目を含みます。

※1単位時間は50分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※学科全体の時間数で記入してください。

（単位：校）

総授業時数に対するALT等 が参画する授業時数の割合	0%	1~ 24%	25~ 49%	50~ 74%	75~ 100%
普通科	29	1,501	567	105	23
英語教育を主とする学科 及び国際関係に関する 学科全体	1	37	59	29	9
その他の専門学科 及び総合学科	55	1,031	457	91	21

10-(2)ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：学科）

		75%以上の授業 で行った（行う）	50%以上75%未 満の授業で行った （行う）	25%以上50%未 満の授業で行った （行う）	1%以上25%未 満の授業で行った （行う）	実施していない
普通科	教師とのやり取りを生徒に示す やり取り・発表のモデル提示	1,067	452	312	319	48
	パフォーマンステスト等の補助	699	356	401	462	280
	生徒のやり取りの相手	942	479	396	340	41
	発音のモデル・発音指導	943	447	348	369	91
	生徒の発言や作文等に対する コメント・フィードバック	899	482	388	367	62
英語教育を主と する学科 及び国 際関係 に関する 学科全 体	教師とのやり取りを生徒に示す やり取り・発表のモデル提示	90	19	17	5	3
	パフォーマンステスト等の補助	78	23	13	16	4
	生徒のやり取りの相手	85	21	19	8	1
	発音のモデル・発音指導	82	23	14	11	4
	生徒の発言や作文等に対する コメント・フィードバック	82	31	12	8	1
その他の 専門学 科及び 総合学 科	教師とのやり取りを生徒に示す やり取り・発表のモデル提示	702	336	263	259	45
	パフォーマンステスト等の補助	422	250	291	334	308
	生徒のやり取りの相手	623	353	333	251	45
	発音のモデル・発音指導	673	315	290	258	69
	生徒の発言や作文等に対する コメント・フィードバック	554	323	325	303	100

10-(3) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：学科）

		週1回以上行った （行う）	月1回以上行った （行う）	半年に1回以上 行った（行う）	年1回以上行った （行う）	実施していない
普通科	英語の授業以外の授業や 学校行事での生徒との交流	445	411	475	220	674
	一定の目的を持った授業外での教育活動 （例：部活動、希望する生徒に対する個別指 導、異文化理解のための学習）	885	431	269	133	507
英語教育を主と する学科 及び国 際関係 に関する 学科全 体	英語の授業以外の授業や 学校行事での生徒との交流	48	36	33	11	7
	一定の目的を持った授業外での教育活動 （例：部活動、希望する生徒に対する個別指 導、異文化理解のための学習）	85	26	19	2	3
その他の 専門学 科及び 総合学 科	英語の授業以外の授業や 学校行事での生徒との交流	252	259	339	211	594
	一定の目的を持った授業外での教育活動 （例：部活動、希望する生徒に対する個別指 導、異文化理解のための学習）	471	273	216	133	562